

2025年1月20日
報道関係者各位

保安品質と労働生産性の向上を目指し 車両オフィス化の運用を全国28事業所に拡大

ガスパルグループは、2023年よりガスパル九州16事業所で先行して取り組んできた車両オフィス化の運用を2025年1月20日よりガスパルグループ（ガスパル九州除く）12事業所に展開します。業務の効率化を通じて、保安品質と労働生産性の向上を目指します。

■車両オフィス化とは

社有車内に車両オフィス化機器を設置。外出先でも車内から会議に参加したり、事務処理ができるようにすることで、事業所との往復にかかる移動時間や待機時間の有効活用を図ります。また、スケジュールにゆとりが生まれることでお客様の希望の時間帯での柔軟な対応が可能になります。

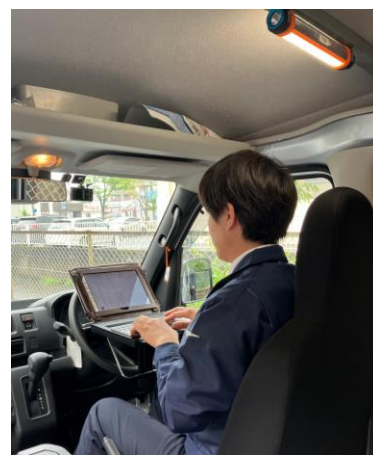


▲車両オフィス化機器

■これまでの車両オフィス化の取組み

2023年12月 ガスパル九州3事業所で試行運用開始
2024年12月 ガスパル九州内全事業所へ水平展開
2025年 1月 ガスパルグループ（ガスパル九州を除く）12事業所を追加
ガスパル九州含む計28販売所で展開

試行運用にて社員一人あたりの月間業務時間を削減でき、業務の質を落とすことやミスを増やすことなく業務効率が向上したことが社員へのヒアリング結果から分かりました。ガスパル九州全事業所へ水平展開したのち、全国の事業所より導入希望の声が上がったことで、ガスパルグループ12事業所への展開が決定しました。



▲車両オフィス化イメージ

■ガスパルグループのDX戦略

当社は、事業戦略と連動したDX戦略を掲げ、中期経営課題「VISION2030」の実現に向け、様々な取組みを実行しています。当社の3つのDX戦略で、中期経営課題を確実かつ、迅速に推進します。詳細は当社HP（<https://www.gas-pal.com/company/dx/>）をご覧ください。

当社は今後も IT 技術を活用し、保安品質のさらなる向上と労働生産性の向上を同時に実現していくとともに、ステークホルダーへの新しい付加価値サービスの提供など新たな分野にも挑戦していきます。